### 令和7年度 第1回千代田区男女平等推進区民会議 議事要旨

日 時	令和7年6月18日(水) 18 時 30 分~20 時
会 場	千代田区役所 4階 教育委員会室
委員	会 長 坂本 文武 副会長 鈴木 浩子 委 員 金子 雅臣、正木 順子、岸 啓子、大井 あんぬ(欠席)、 不破 めぐみ、戸栗 大貴、大津 志保、永野 達也、 市橋 美紀、岩﨑 德子、鈴木 清江、緒方 亜実、 畑瀬 由美、森 三千代、森井 美木子 事務局 国際平和・男女平等人権課長 中田 治子 国際平和・男女平等人権課
次第	<ul> <li>I 開 会</li> <li>2 委員自己紹介</li> <li>3 報告</li> <li>第6次千代田区ジェンダー平等推進行動計画の進捗状況について</li> <li>4 議題</li> <li>千代田区ジェンダーに関する意識・実態調査について</li> <li>5 その他</li> <li>6 閉 会</li> </ul>
配付資料	資料 1 令和7年度千代田区男女平等推進区民会議委員名簿 資料 2 第6次千代田区ジェンダー平等推進行動計画の進捗状況(報告) 資料 3 (仮称)「第7次千代田区ジェンダー平等推進行動計画」策定の概要 資料 4-1 令和7年度千代田区ジェンダーに関する意識・実態調査概要 資料 5-1 【区民】調査票(案) 資料 5-1 【区民】調査票(案) 資料 5-2 【青少年】調査票(案) 資料 5-3 【事業所】調査票(案) 「参考資料」 ・男女共同参画センターMIW(ミュウ)相談室チラシ ・MIW通信第 56 号 ・千代田区男女平等推進区民会議の役割と今後の予定 ・男女平等推進区民会議設置要綱

#### 【議事要旨】

- | 開 会(省略)
- 2 委員自己紹介(省略)
- 3 報告(第6次千代田区ジェンダー平等推進行動計画の進捗状況について)

発言	者	内容(要約)
中田国	]際平	【第6次計画の進捗状況(成果目標)】資料2のとおり

発言者	内容(要約)
和・男女平	
等人権課長	
委員	男性の育児休暇取得が気になる。弊社も少人数で代わりがいないので、取らせてあげ
	たいけれど取れないという現状がある。
坂本会長	・男性の育児休暇は、期間が長いか短いか問わず取得率で見られたりするので、数字
	がミスリードしないように、意味のある数字を取るべきである。
	・育児休暇を取得したい人が取っていて、取得したくない人が取らなくてすんでいるかど
	うか、ということもあるので、一律に取得率が100%であれば良いということではない。
	その辺りの実態も踏まえて進捗を把握することが、今回の意識調査の際、注意すべき点
	である。
委員	(19)区職員の管理・監督者に占める女性の割合のところで「係長職において昇任猶
	予の制度を利用する女性職員が高い」とあるが、「昇任猶予の制度」とはどういう制度
	か。
中田国際平	区では、就職をして5年経つと主任試験が受けられる。その試験に合格し、さらに5年経
和・男女平	つと係長に昇任する形になる。女性の場合、例えば大卒で入ると10年後は32歳という
等人権課長	ことで、結婚して出産し育児が始まる方も多いため、そういった方々の昇任を猶予する制
	度である。
委員	猶予の期間はどのくらいか。
中田国際平	本人の状況を確認しながら猶予するという形になる。女性の職員は、何が何でも役職に
和・男女平	就きたいという者はあまりおらず、どちらかというと、それぞれのライフステージに応じた
等人権課長	選択をしたいという者が多い。
委員	表には「責任や負担が多くなる」「長時間の勤務が困難」とあり、どちらかというと、尻込
	みするという従来型のパターンだと思う。区は、役職者になっても働き続けることができ
	るよう、長時間勤務の改善等をしていく必要があるのでは、と感じる。
坂本会長	時短でも、昇進して管理職になるということができる時代であるし、選択肢を広げること
	が重要である。
委員	・(2)人権が尊重されている社会であると思う人の割合について、令和6年度の未達成
	理由が「目標設定が曖昧なため」とある。令和5年度の未達成理由は「SNS の普及に
	よるインターネット上の人権侵害などが増加していること等が一因として考えられる」と
	あるが、もしかすると、令和6年度も同じような理由かもしれない。今のアンケートの取り
	方では、理由を分析する情報が不足している気がするので、アンケートの取り方を工夫
	する必要があると思う。例えば、「学校・職場でそういういじめ等の問題を見聞きしたこと
	があるかどうか」「家庭内で見聞きしたことがあるかどうか」、また、インターネット上の
	人権侵害の場合は「それ以外の場面で見聞きしたことがあるかどうか」という形で、具
	体的な問題として身の回りにあるかどうかを聞く方が、もしかしたら具体的に統計が取
	れるかもしれない。
	・(11) 虐待に関する相談件数について、これに関しては前回も意見があったと思うが、
	相談件数は少ない方がよいのか、それとも早期に相談できるという意味で多い方がよ
	いのか、ということがあるので、相談件数だけだと評価がしづらい。相談後に問題解決し
	たのか、または解決せず継続相談なのか、処理の種別での件数の割合という形で見た
	方が有効かもしれない。
坂本会長	・1点目、計測可能な事象や行動で追いかけた方がいいのではないかということは、今

発言者	内容(要約)
	日の後半の議論にもつながると思う。
	・2点目、指標のあり方について、今は解決を目指さない相談支援もある中で、どういう
	状態である件数が増えたら危ないとみるのか、もしくはどういう状態である件数が増え
	たら良いとみるのか。そこも具体的に、問題意識が持てるような指標を設定する必要が
	ある。
委員	(19)区職員の管理・監督者に占める女性の割合について、先程ご意見があった通り、
	女性でも管理職になりやすい制度を作ることを目指していただくことがとても重要だと
	思うが、それぞれの方が自分の目指すキャリアを考えるということで言えば、制度は作っ
	た上で、それでも管理職を目指さない方がいれば、それもやむを得ない部分はあると思
	う。それに対して、(18)区の審議会等における女性委員の割合については、充て職で
	あっても、女性がなるべく委員になる形ができればと思う。先ほどの岸委員のお話にあっ
	たように、全部女性にまわってくるというようなところは出てきてしまうのかなとは思うが、
	ただ、優先順位としては、(18)の方を先に、数値ということに関しては検討していただく
	とよいと思う。
坂本会長	民間企業では、管理職になることは罰ゲームだということで管理職になりたがらない社
	会になりつつあるが、この辺も含めて考えていく必要がある。
中田国際平	女性の管理職について、区の職員向けに、長時間労働や議会対応についてアンケート
和・男女平	をしたことがある。議会対応については、例えば終了が夜 10 時であったり、過去には日
等人権課長	をまたいでしまったりすることもあった。議会の方とも調整をして、一定のルールを決めて
	早めに終わるようご協力いただいているが、議員の方からはしっかりと議論したいという
	意見もあり、職員のワーク・ライフ・バランスとの間でなかなか難しい面もある。しかし、時
	代の流れもあるので、しっかりと議会と調整しながら進めていきたい。

## 4 議題(千代田区ジェンダーに関する意識・実態調査について)

発言者	内容(要約)
中田国際平	資料3、4-1~4-2、5-1~5-3 のとおり
和・男女平	
等人権課長	
坂本会長	ご案内があった通り、調査票は、まだ未確定の状態でたたき台の段階である。これから
	皆さんのご意見をいただきながら修正していくので、なるべく気になったところは発言し
	ていただければと思う。
	まずは、資料4-1、意識・実態調査の概要で、内容や方向性について意見がある方は
	お願いしたい。
委員	調査票で、黄色い網掛けがついている部分が新しく変わった箇所か。
中田国際平	そうである。
和・男女平	
等人権課長	
坂本会長	次に、資料5-3、事業所向け調査票について、意見はあるか。
委員	事業所向けアンケートの問5が、違和感がある。男性女性の平均年齢や平均勤続年数
	というのは、近年あまり調査しないのではないか。私共でも組合や事業所に直接調査を
	しているが、男女の平均年齢と平均勤続年数というのは出していない。答えづらい部分
	があると思う。

発言者	内容(要約)
坂本会長	何を目的に事業所にアンケート調査をするのか、というところだと思う。それによっては、
	ここまで細かく聞かなくて良いことが多くある気がする。事業所に向けての調査の目的
	として、どのようなことを明らかにしたいのだろうか。
中田国際平	千代田区全体でジェンダー平等という考え方を進めたいという目的があり、千代田区に
和・男女平	は多くの事業所があるので、そういった方々のご意見をいただきながら事業を展開した
等人権課長	いという考えである。
坂本会長	それは、事業所の課題を明らかにしていきたいということか。
中田国際平	そうである。事業所といっても、従業員の人数にかなり幅があり、業態もさまざまである。
和・男女平	このアンケートで上手くその辺りが拾えるのかどうかなかなか難しいところではあるが、
等人権課長	地域内の事業所の規模に応じてアンケートを配布して、回収していきたいと考えている。
坂本会長	事業所について、何を把握できれば、次の計画策定に反映できそうか。
委員	アンケートの表紙に「事業所における男女共同参画や女性活躍推進への取組をお伺い
	する」と書いてあるので、例えば、「管理職に女性を登用するためにどのような工夫をし
	ているか」という設問だと、時代の変化とともに新しく事業所が取り組んでいる点が見え
	てくるのではないか。
坂本会長	「女性がさらに活躍できるようにするために、今事業所で何をやっていて今後どんなこと
	が考えられるのか」みたいな設問であると、企業別で回答の傾向が違いそうであるし、
	聞いてみると面白そうである。
委員	このアンケートは、回答者にアンコンシャスバイアスに気付いてほしいというのが目的で
	あると解釈していたが、代表者や総務がまとめて回答することになると思う。そうすると、
	出た結果を見てもらってアンコンシャスバイアスに気付いてもらうという意味合いか。
坂本会長	そこまで狙っていないと思う。とりあえず実態を知るためのアンケートであって、回答者に
	何か気づきや教育的なものを求める意味合いは持っていない。ただ、必要であれば、バ
	イアスのかかった方が間違えて回答しやすい所があれば、括弧書きで注釈を付ける等、
	工夫はできると思う。
委員	単純に実態を知るために聞くというのであれば、運営側は気づきのチャンスになりそうだ
	が、数値を出さなくてはならない総務は大変な作業だと思う。
坂本会長	分からないところは未回答でもよい、としないといけない。全問回答は難しい気がする。
委員	気づいてほしいきっかけづくりとしてのアンケートという意味合いであれば、「健康診断」
	について配慮していることはありますか」と聞くと、アンコンシャスバイアスがあるかない
IC L A E	か、企業のカラーは見られると思う。
坂本会長	プライム上場企業だと、今は男女の賃金格差を開示することが義務化されているので
	賃金格差は分かるが、他の企業は分からなかったりする。企業の現場において男女で
	ギャップがありそうなところを聞いていくという点では、まだいくつか設問を追加できそう     ボャス
<b></b>	である。
委員	・問9「女性従業員が実際に活躍している分野について教えてください」とあるが、単純
	に女性が働いている分野を聞いているのだろうか。表現が曖昧で答えにくい。「活躍」の       切っちは、人によって思なると思う
	捉え方は、人によって異なると思う。   ・問   9 「企業においてワーク・ライフ・バランスを推進する上で一番重要なことは何だと
	・向「9・企業においてソーク・ライフ・ハランスを推進する上で一番里安なことは何だと     思いますか」について、(Oはいくつでも)とあるが、「一番重要なこと」と聞いているのに
	忘いまりか」に プいて、(Oはいく フても) とめるか、 一番里安なこと」と聞いているのに   「いくつでも」はおかしい。
	- ・・・、 ノ (も) はおかしい。 - ・全体を細かく見ていくと、答えに何を求めているのか分からず、迷うところも随分あるの
	エ 〒で で 一川 ( )、 )、 「 」、 「 」 で 「 」 で 「 」 で 「 」 で 「 」 で ) で ) で 」 で こ で つ む 「 迎 方 の つ り )

発言者	内容(要約)
	では、と感じる。
坂本会長	第三者の目線で、もう一度設問と回答選択肢を見直し、「活躍」といったようなあいまい
	な概念があるところを見直す必要がある。回答する人によっては、従業員がそう思ってい
	なくても「皆活躍している」と○を付けるかもしれない。その辺は、解釈の差が出ないよ
	う、なるべく注釈を付けたり解釈が狭い言葉に置き換えるようにしたい。
委員	8ページにハラスメントについての項目があるが、性的志向、性自認に基づくハラスメン
	トもこの中に含まれているはずだが記載がないので、追加していただけるとよいと思う。
委員	・事業所向けのアンケートに関しては、経営者が、労働者が考える問題をきちんと吸い上
	げて認識できているかということを確認できるような仕組みがあるとよい。果たして区民
	向けのアンケートとの整合性をとって労働者の認識と代替してよいのか、また、千代田区
	内の事業所に勤めている人が本当に千代田区民なのか、ということもあるので、かなり
	難しいところだが、その辺りも何か工夫ができればよいと思う。
	・事業所にアンケートを取る意義は、事業所が認識した問題に対して今後どう対策を取
	れると考えているか、にある。対策を取るにあたってどういうところに不都合を感じてい
	て、どういうところで行政のサポートを必要としているかというところが分かると、行政と
	して手を差し伸べるポイントが明確になってくる。例えば、問 22「ハラスメントが起きたと
	きに対応が困難と感じること」といった設問で、そういう困りごとを吸い上げられるとよ
	\' <sub>0</sub>
	・1ページ目の平均年齢・平均勤続年数について、このアンケートの目的から考えると、
	動続年数を確認することには意味がない。年齢についても、「平均」という形にすると計
	算も大変であるし、そもそも   人高齢や若年の方がいるだけで平均がずれてしまうので、
	仮にやるとしたら、問4の男女の人数を設問と合わせる形で、何歳代何人、というような
	大まかな年齢の分布が把握できれば、アンケートの指標としては十分だと感じる。
坂本会長	・「ジェンダー平等に関して何か問題を抱え合っていますか」とか、「ジェンダー平等に関
	する話し合いを社内でしていますか」とか、そんなことでも分かるかもしれない。また、直
	接的に、「行政に対して期待することはありますか」として、他の自治体でやっていそうな
	選択肢を上げてデータを取ってみる等は、できそうな気がする。
	一・この調査票を大企業にも送るのか。例えば、小さい規模の企業に限定して調査票を送
	るといったことでも良いかもしれない。今後、選定上の課題として考えていく。
委員	・問10の選択肢に違和感がある。2「育児、介護、家事等、家庭の事情で休む」につい
	て、「育児、介護」を「家庭の事情」として捉えるのはおかしい。「育児、介護等で長期に
	わたり職場を離れることがある」ということならわかるが、「家庭の事情で休む」というの
	はおかしい。7「重量物の取り扱いや危険有害業務について」というのは、非常にまれな
	ケースであるので、選択肢に入れる必要があるのか。
	・先程、女性が管理職になりたがらないこともあるという話が出ていたので、そうであれ
	ば、「女性が管理職になりたがらない」という選択肢があってもよいのではないか。
坂本会長	私も、全体的に古い概念で作られた設定だなと思うところがあり、1つ1つにちょっとした
	バイアスがかかっているような雰囲気を感じる。見直す必要がある。
坂本会長	次に、資料5-1、区民向けのアンケートについて、ご意見をお願いする。
委員	問10「現在、結婚(事実婚・パートナーを含む)している方」ということで、おそらく同性
	パートナーも含んでいる想定だと思うが、項目として「主に男性」「主に女性」「男性と
	女性が同程度に分担」とあり、男女カップルのみの想定となっている。設問を、ご自身の

発言者	内容(要約)
	立場がどのような性別で、二者がどのように分担しているのかという風な設問ではない
	と回答できない。これは、青少年向けのアンケートの問7にもあり、こちらも同様である。
委員	・問11で、「感じたことはありますか」という設問に対して、「あると感じる」という回答は
	おかしい。
	・アンケートの表紙の冒頭で、まず「千代田区では、DVの増加や」という文章から始まっ
	ているが、いきなり「DVの増加」という言葉が出てくるのが不安をあおる。アンケートの
	趣旨と少し違う気がする。
坂本会長	大切なポイントである。きちんと調査の目的が伝わらないとバイアスがかかって回答され
	てしまう。
委員	問12の回答の仕方として、「そう思う」「そうは思わないが、そういう考えがあってもよい
	と思う」「そうは思わないし、そういう考えがあってはならないと思う」という選択肢がある
	のは、自身がそう思うかどうかということと、そういう考えを否定するのかしないのかとい
	う2つの考えを一気に聞きたいという意図だと思う。ここで意識調査をやるならそれで構
	わないが、そうでなくて、単純に統計を取るという意味でいうと、項目として、「そう思う」
	についても、「そう思うし、そういう考えがあってもよいと思う」と、「そう思うが、そういう考
	えがあってはならないと思う」というのもあっても良いのではと思った。しかし、経年変化
	でずっと統計を取りたい設問であれば、目をつぶってもよいところではあるかなとも思っ
	た。
坂本会長	賛同するかしないか、それに対して好意的なのか否定的なのか、が混じってしまっている
	ので、より正確に把握した方がよければ、そこは調整する必要がある。
委員 	・問 3- で、「問 3で「3」を選択した方にお聞きします」とある。そこで、問 3を見てみ
	ると、例えば①で選択肢3を選んだ人は、男女の差をつけるべきではないという考え方、
	逆に、③で選択肢3を選んだ人は、男女の差をつけるべきという考え方である。よって、
	問13-1での自由記述の欄については、2つの意見が混同してしまうと思う。
	・アンケートの分量が多いので、冒頭に「これを回答するにはだいたい○分かかります」
	といったことを書くと良いかもしれない。
坂本会長	・設問数が多いことは事務局も問題視しているようなので、どうしても必要でないものが
	あれば省いていくことは必要である。経年変化といっても、これだけ社会背景が変わって
	いる中で同じ設問の回答をとっても、解釈が違う。その数字が増えたから、減ったからと
	いって、本当に意識が変わったのかというと、ちょっとよく分からないところも出てきてい
	るので、設問の数は減らせるだけ減らすことにする。
	・今ご指摘の問13など、特定の回答に対する自由記述欄であいまいなもの、また、意義
	が混同して分析するのに耐えない設問に関しては、自由記述で分析が可能なものを残し、以思ざれるようは、自由記述の書きませば道せるように改善せる。
<b></b>	し、必要であるものは、自由記述の書き方を誘導するように改善する。
委員	問   6は「○はいくつでも」で、問   8は「○は3つまで」となっている。この数の違いは、ど
中田日曜五	のような意図があるのか。
中田国際平	深く考えていない。ご意見をいただき、統一した方がよいと思った。世論調査等の設問を     佐る際も、「○けいくつごも、というのけをまりなく、「○け2つまご、というのが多い、その
和・男女平	作る際も、「○はいくつでも」というのはあまりなく、「○は3つまで」というのが多い。その     辺りけ敷理しない
等人権課長	辺りは整理したい。 日的がたれば、回答の選択時の持たちは沈まると思うので、そうなしっかりと沈めて、音
坂本会長	目的があれば、回答の選択肢の持ち方は決まると思うので、そこをしっかりと決めて、意     図をもってきちんと設問を作ってほしい。
<b>永</b> 日	
委員	問16「今後、男性が家事、育児、介護、地域活動を積極的におこなっていくためには」と

発言者	内容(要約)
	いうところで、なぜ「地域活動」が突然入っているのか。男性はどちらかというと、町内会
	長とか割とそういう「地域活動」をやっているイメージがある。選択肢にも「地域活動」に
	関するものがない中、あえて設問に「地域活動」を入れた意図は何か。
中田国際平	主としてボランティアに関わってほしいという意図で入れたが、この設問に合っていない
和・男女平	部分もあるので、検討する。
等人権課長	
委員	·問8-I「性別等によって自身の立場が弱い(強い)ことで、不利益を被った経験はあり
	ますか」とあるが、「性別等」というのは、ジェンダーのことがあるので「等」が入っている
	という解釈でよいのか。また、自分の立場が弱いことで不利益を被るというのは比較的
	分かりやすいが、立場が強いことで不利益を被るというのは、どういう場合を想定してい
	るのか。例えば、会社の中で男性であることが優位であるという仮説を基にすると、男性
	であるがゆえに、昇進したくないのに無理矢理昇進しろと言われるということが不利益
	ということなのか。日本語の想定されているところがよく分からない。
	・問9「男女等の地位が平等である方が良いと思いますか」とあるが、そもそも憲法上、
	男性も女性もなく人はそれぞれ全員平等なはずなので、「平等である方が良いと思いま
	すか」という設問はおかしい。
坂本会長	・問8-1については、事務局があまり具体的な想定を持っていないようなので、ここは想
	定を持った上で、正確な表現に変更していく。
	・問9については、それぞれの場面において平等になっているかどうかという感覚を聞き
	たかったのか。
中田国際平	「平等である方が良いと思いますか」という設問の表現がおかしいので、「平等と感じる
和・男女平	か」といったような表現に変更するよう、検討したい。
等人権課長	
坂本会長	これは、実態を聞くのか、感覚を聞くのか。そこもちょっと明確にして作り直すことにする。
委員	・先程の事業所向けアンケートに関して、私も企業案件をやっていたが、悩みが細かくな
	ればなるほどなかなか答えてくれない。男女別の構成を意識的に取る調査というものが
	あまりなく、逆に言うと、男女別の構成まで突っ込んで聞くことによって、その調査が生き
	てくると思う。例えば、このアンケートの中でも、「女性向けの取り組みを意識しています
	か」といった時に、企業の中に女性がほとんどいない企業は意識する必要がないわけ
	で、そういった企業が「意識していない」と回答をした時に駄目と言えるのか、背景の男
	女構成をある程度押さえないと、回答があまり意味を持たない。事業所向けは、大変で
	も、男女別はちょっとこだわってやる必要があると思う。平均年齢等細かいところまでや
	るかは別として、それは非常に大事だと思う。
	·全体を通して、意識を聞くのか、実態を聞くのか、意識的に啓蒙するのか、を、設問ごと
	に整理する必要があると思う。
坂本会長	・回答を求める時に、どのくらい正確である必要があるかということを明記してあげる必
	要があると思う。「だいたいでいいですよ」とか、そんな形でもよいと思うので、回答しや
	すいような努力をしながら、回答を促していく必要がある。
	・区民向けアンケートに関しては、「これは意識を聞くものです」「ここから先は実態につ
	いてあなたの経験を聞くものです」という風に、ブロックを分けるか、各設問に何を聞い
	ているのかをはっきりと添えてあげると、回答しやすくなると思う。
委員	・私は 70 年近く千代田区に住んでいるが、一度もアンケートに答えたことがない。どの

発言者	内容(要約)
	ように人を選んでいるのか。
	・今日の会議は、アンケートの何について話すのが目的か。
坂本会長	・アンケートの対象者は無作為に抽出している。
	・今日の会議は、方向性と具体性と両方求めている。
委員	・このアンケートは集計して、どのように活用しているのか。
	・また、資料については、事前にじっくり見たいと思う。
坂本会長	・基本的に今回調査をして集計をし、私達は委員会として、今千代田区のジェンダー平
	等はこういう課題があるのではないかという議題の参考にするということと、今やってい
	るジェンダー平等推進行動計画の進捗確認のために、指標化されているものが結構あ
	るので、今の区の施策がどのくらいいっているのかと、次に私達が行動計画を考えるに
	あたっての課題を特定するという目的では、一応設定されていて、毎年やっている調査
	ではなく何年かに1回やっている段階である。
	・ご不明な点については、事務局からフォローさせていただく。
坂本会長	次に、資料5-2、青少年向け調査票について、ご意見はあるか。
委員	・問3について、父親または母親一方しかいない、もしくは両親ともおらず祖父母や親戚
	に育てられている青少年もいるので、配慮していただきたい。書きぶりが難しいが、「わ
	からない」or「答えたくない」という回答があると、さまざまな家庭環境がある中、ランダ
	ムに抽出した時に、より答えやすい青少年が出てくると思う。
	・選択肢で、父親の項目の「主夫」と、母親の項目の「主夫」がどちらも「夫」になってい
	る。インターネット上での検索では、母親の時は「婦」を使うとなっている。ただ、ジェンダ
	<ul><li>一平等の観点から、ここの漢字の表記も特に入れないのであれば、「主夫」を消して、括 │</li></ul>
	弧の中にある「主に家で家事や育児等をしている」をそのまま選択肢としてもよいと思
	う。
坂本会長	ジェンダー平等のアンケートをするのに、特定の人が傷つくような設問は避け、その他を
	含めて、回答をしたくない権利を尊重するように設定する。
委員	・区民向けの問8-1と、青少年向けの問4-1の書き方が同じ形になっているが、ここは、
	後から対比して見たいのかなと思いながら見ていたが、ちょっと中高生が答えるのには
	難しい文言があるように思う。「性別等によって自身の立場が弱い(強い)ことで不利益
	を被った経験はありますか」は、区民向けと同じ文言の質問だが、狙いが分からない。
	・最後の問25に自由記述があるが、問24との間に例示等があると書きやすいかなと思
	).
坂本会長	誘導しない範囲で少し例示をしてあげるとか、これはこういうことを意味していますとい
	う注釈や補足をもう少し丁寧にしていかないと、青少年は回答しづらいと思う。
委員	問16で「あなたは「デート DV」という言葉を知っていましたか」とあり、言葉を理解して
	いる人は選択肢   を選ぶと思う。一方、問   7の①では、皆がデート DV を理解している
	かのような設問になっている。問16でデート DV を知らないと回答した人も、問17の企
	を回答するのか。それとも、この設問でデート DV について理解させようという趣旨なの
	か。おそらく、問   6で選択肢   を選んだ人でないと、この問   7の①は難しい設問のよう
にナヘニ	な気がする。
坂本会長 	問17では、「デート DV」と言わなくても、「それは暴力性がありますか」とか、「何かそれ
	で誰かを抑圧していますか」というような、これは言葉遣いは要検討だが、別な言い方を
	してその実態を聞くという風に修正できそうである。確かに、問16と問17は整合してい

発言者	内容(要約)
	ない。
委員	DV や性暴力・性被害について、親密な関係の他者との間に起こるのが DV(ドメスティ
	ック・バイオレンス) であり、親密な関係性でなくても起こるのが性暴力・性被害である。
	青少年向けも区民向けも、DV についてのみの設問で、性暴力・性被害についての設問
	が抜けている。
坂本会長	昨年度の委員会でも、ジェンダー平等の政策をどこまでの範囲扱うべきなのか、まだな
	かなか輪郭が定まっていないという議論があったので、性暴力・性被害もこのジェンダ
	ー平等という枠組みで考えるのか、それとも別の枠組みで考えるのか。少なくとも実態と
	して聞いてみたいとか、それが誰か傷つけない範囲で聞いてみたいのであれば、追加し
	た方がよいと思う。
委員	問6-2で「注意されたとき、どのように思いましたか」というところで、ここの趣旨は、男
	性だから、女性だから、ということを根拠として行動を正そうとされたことに納得ができた
	のか、そうでなかったのか、ということだと思う。選択肢の1「そのとおりだと思った」は良
	いが、2「いやだなと思った」は、怒られたら誰でもいやだなと思うので、あまり考えずに2
	を選択してしまうお子さんは多いと思う。設問が長くなったとしても趣旨が伝わるように
	してあげないと、この設問で取りたい数字が取れないのではないか。
坂本会長	ここは、何を聞きたいのかというところをはっきりさせれば良いと思う。「納得がいく」とか
	「納得がいかなかった」とか、別の言葉に置き替えることは可能だと思う。
坂本会長	他に今日の委員会で気付いた点があれば、「週間位の間にメールで送っていただきた
	۱٬۰
中田国際平	メールの様式は別途送らせていただくので、そちらに記入し返信してほしい。
和・男女平	
等人権課長	

### 5 その他(事務連絡のみ・省略)

# 6 閉 会